

学校だより



平成27年度 第21号

下野市立南河内中学校

発行者 日下田 英彦

H27. 10. 21

10月の俳句 野の花を野にあるやうに挿しにけり

杉阪 大和

朝、出勤すると玄関まで美しい歌声が聞こえてきます。早朝から合唱コンクールの練習を行っている生徒の姿が目につかびます。いよいよ今週は夕顔祭の週となりました。放課後も合唱練習に加えて、展示の準備や発表の練習に一生懸命に取り組んでいます。詳しくは、プログラムが配布される予定ですが、ぜひお子さんの練習の成果をご覧になられますよう、学校まで足を運んでいただけるとありがたいです。

1 夕顔祭について

2015スローガン **翔(かける)**
～今こそ羽ばたく瞬間～

- ◎ 会場 本校体育館及び校舎
- ※体育館補修工事のためフェンスが設置されています。体育館東階段よりお入りください。なお駐車場は校庭南側をお使いください。
- ◎ 当日の予定 (体育館)
 - ① 合唱コンクール
9:35～10:45
 - ② 吹奏楽演奏
11:00～11:30
 - ③ 中学生の主張 (PTA主催)
12:30～13:00
 - ④ 有志生徒による発表
英語スピーチ、少年の主張
広島派遣報告、南中ソーラン
被災地学習発表 (PTA) 等
13:00～16:10
- ※時間はおよその予定です。多少前後することも考えられます。詳しい内容についてはプログラムで確認ください。
- ◎ 作品展示 本校校舎各会場唱
 - ・各学年装飾部による展示
 - ・美術部作品
 - ・国語科作品 (書道・俳句等)
 - ・美術科作品 (絵画、デザイン等)
 - ・各学年総合的な学習の時間の作品等

2 体育館、校庭の工事について

夕顔祭終了後の10月26日(月)、体育館2階の修繕工事が行われます。合わせて、今月初めから、校庭東側の擁壁修繕工事が始まっています。詳しい内容については、先日通知で案内を差し上げていますが、大型車の出入りがあり、保護者の方の来校時の駐車場についてもご不便をかけています。業者さんとは生徒の安全を優先に計画していただいておりますので、今月末からの教育相談(三者面談)や11月の父親授業参観等で来校時にも十分、気をつけられるようお願いいたします。

3 11月の予定

10月28日(水)～11月6日(金)	教育相談
4日(水)	生徒会朝会
11日(水)	12日(木) 2学期中間テスト
13日(金)	学年朝会
14日(土)	父親授業参観 PTSバレーボール大会 (会場 南河内体育館)
16日(月)	振替休日
18日(水)	3年まとめテスト
19日(木)	全校朝会 (講話)
25日(水)	全校朝会 (表彰)

4 県新人大会結果

- バドミントン男子団体 2回戦 0-2 東陽中 2回戦敗退
- バドミントン女子団体 1回戦 2-1 今市中 2回戦 0-2 星が丘中 2回戦敗退
- ・バドミントン男子個人 シングルス 2回戦敗退 1名
- ・バドミントン男子個人 ダブルス ベスト8 角田駿哉・吉川有海組 小林大起・伊澤颯翔組
- ・バドミントン女子個人 シングルス 2回戦敗退 1名
- 新体操 個人総合4位 田母神日陽 個人総合8位 舘野沙也佳
- ソフトテニス女子個人 2回戦敗退 1組

5 シルバー大学OBの方がボランティアに来てくれました。

10月16日(金)、シルバー大学OBの方々が、本校のためにできることはないかということで、ボランティア活動を行っていただきました。まずは環境美化ということで、校庭にたまった落ち葉掃きを行いました。今後、学校の様子を参観していただいて、環境美化以外にも、それぞれの特技を生かして、ボランティアを続けていただけるとのことです。ありがとうございました。



6 部活動アンケート 協力ありがとうございました。

先日部活動係より平成28年度以降の部活動についてのアンケートをお願いいたしました。多くの保護者の皆さんに協力していただき、多数のご意見をいただきました。アンケートの結果とすべてのご意見を紹介させていただきます。

部活動保護者アンケートまとめ

①は、部活動数の削減

②は、部活動数は削減しないで、土曜、日曜の活動を減らす方向

1年	① 13名	② 40名	その他 1名	計	54名	
2年	① 17名	② 35名	その他 2名	計	54名	
3年	① 7名	② 22名	その他 1名	計	30名	
計	① 37名	② 97名	その他 4名	合計	138名	回収率約64%

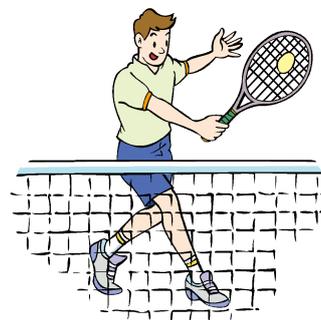
すべてのご意見を紹介します。

①部活動削減

・部活動は学校生活の一つととらえるならば、生徒数が減ったら部活数も減らし、増えれば増やせば良いと思う。実質2年半くらいですから、何かの部活動に休日も打ち込んでほしい！と思うのが1人の保護者としての意見です。

・1つの部当たりの同学年の部員数が少なくなると、団体戦が組めない場合がでてくるから。現時点でも休日や夏休みの活動が休みが多いのに、これ以上休みが多くなることを避けてほしいから。

・部活動の本来の意見・目的を考えた上で決めるべきかとは思いますが、部活動をせっかくやるのであれば、やはり大会など目標に向かって一生懸命やってほしいと思います。②だと休みも多くなり、練習時間が少なく、人数がいなくなれば中途半端になってしまうのではないかと思います。ただ部活動の種類が少なくなれば、他の活動(サッカーチームに入るなど)は増えるとも考えられ、そちらの大会で学校を休む場合、欠席扱いになってしまうのはいかがでしょうか。今後そういった点も考えてほしいです。



- ・毎日部活ができないことは良くないと思うので、28年度から1年生の募集を停止するのが良いと思います。
- ・土日に1日しか部活ができないと…
- ・スポーツにはたくさんの種類があり、もともと部活ではカバーしきれず、それならば残念でも1つ減らしてそのスポーツをしたい人はクラブチームなどをさがすとよいと思う。
- ・個人戦は出場できても、団体戦に出場できない可能性があるから。顧問の都合で活動日が減るのを避けるべき。
- ・部活動に所属していないので、意見を言える立場ではありませんが、あえて言うならば、せっかく部活に入っても土日に練習ができない等ではやっている意味がないかと思います。休みが多くなればそれだけグループで学校や親が知らないところで何かをする時間が増えてしまうと言うことです。
- ・部活動は子ども達にとって大きな問題だと思います。ただ生徒数や部員数も無視することはできません。どうしても希望の部をやりたいと言う生徒はすでに他校に行っている子もいます。安易に進めることはできませんが①の方向でない問題がでてくるのではないかと思います。
- ・生徒数の減少はまぬがれないと思います。他校に魅力がある部活があってそちらに生徒が行ってしまうのも、そのご家族の考えなので、否定するのは難しいと思います。大会などで成績を残すのも重要かもしれませんが、中学校の部活動の目的はそれだけではないと思います。また忙しい先生方の負担も保護者の方々に理解してほしいです。今ある部活を廃止して違う部活を取り入れてみるのも1つの案だと思います。また部活というと運動部をメインに考えてしまいがちですが、文化系も必要だと思います。
- ・練習して上手くしたほうが良いから。
- ・1つ部活を停止することでその他の部活に集中できるから①です。
- ・廃部になる部があるとしても、例えば入りたい部がないという事態になったとしても今の世の中なら趣味や習い事としてやることは可能だと思います。部を少ない顧問、指導者で回すことの方がかえって生徒の為にならないと考えます。※このご時世、管理が行き届かない部で起こったことがすべて学校のせいにならないことも…。
- ・難しい問題ですが、人数が減るのは確実なのでよく考えて（みなさんの意見を聞き）決定してください。

②部活動数は削減しないで、土曜、日曜の活動を減らす方向

- ・先生方は大変になると思いますが、部活数は生徒の気持ちを考えると減らさない方向を望みます。
- ・これ以上部活動数を減らすことは子ども達の選択肢もなくすことになると思います。部活動は子ども達にとっても大切な活動です。部活動数が少ない→他の中学へ進学するという方もいらっしゃるようです。
- ・生徒数の減少により当然のことながら部活動数も減り、他の中学校より部活動数が少なく感じられます。バスケットも休部になるということで、これ以上部数を削減することになると、クラブチームに行く子どもや選択肢がせまくなることに疑問を感じます。
- ・これ以上部活動数を減らしてしまうと南河内中入学者がますます減ってしまうおそれがある。（他校に入学を希望する生徒がふえると思われる）
- ・子どもと話し合った結果これ以上部活を削減してほしくないという結果になりました。
- ・土曜日、日曜日のどちらかの活動が休みになるうが、顧問の出張等により活動できない場合があるが本人が心から好きな活動であれば、自宅等でも練習すると思います。自宅等は集団練習は不可能ですが、基礎的な個人練習であれば可能です。また今の部を継続することにより、新入生が他校に入学してしまうことも防止することができます。
- ・本当に少子化が現実となり、悲痛な思いだと思います。②の選択があるのでしたら、活動日数が少なくなるが、中学校生活の中で、級友達と勉強、部活動に励むことに意義を考え、記憶に残る生活を過ごす学業本来の姿は今も昔も同じで、人とのつながりを通してぜ～～ったいに残したい大切な事の一つだと思います。
- ・新入生にも部活に入るか入らないか、入るならどの部を希望しているかアンケートを取る。見学して気持ちが変わることもあると思いますが、一つの目安になると思います。希望する部がなく、結果部活に入らない生徒も増えてしまうこともあり、自然に①になってしまうと思います。
- ・運動部に関して、トレーニングルーム（筋トレや柔軟を行う場所）を設け、例えば顧問の先生の都合で部活動ができない日があった場合、他の顧問の先生と相談し、トレーニングルームでの合同練習日とする。限られた人数の先生方で極力現状の部活動を継続していただきたいので、運動部に関しては“体力づくり”という観点で異種競技でも合同練習は可能だと思います。
- ・②の部活動数を継続することによって、他の中学校への部活流失を減らせるのではないかと思います。その部によっても違うと思いますが、指導する顧問が2人いらしても実際に1人で指導して大会にしか来れない顧問もいるので、デメリットはあまり考えなくてもよいのではと思います。

・現在においても種類が少ない中で自分にあった部活動を見つけることは困難であります。選択肢数を維持するためにも、現在の数を維持することは理想であります。しかし将来的には少なくせざるをえないことは明白であり、部員数の少ない部から切るとはやむを得ないと感じます。28年度は8学級であることから、29年度から改革されたいかがでしようか。

・どちらも先生方は大変だとは思いますが、選択肢が減りすぎてしまうのも困る子どもたちもいるかしら…と、部活に気合いを入れている子ばかりではないですし、なかなか難しいのでしようが、先生方ももう少し休日にお休みを取れるといいですよ。いつもお疲れ様です。

・娘はバスケ部に入っています。休部になってしまうということで精神的ショックは計り知れないくらいでした。他の学校に比べて部数も少ないのに、これ以上減らしてしまったら、これから入学する子は部活を選ぶことすらできなくなってしまうと思います。

・現実的には①を選ぶのが良いと思いますが、子どもたちのことを考えると、現状維持の②です。28年度に我が家でも弟が入学予定ですが、部活を決める際、あまりにも選択肢が少ないのも、部活に入らないという選択が増える原因になりかねないかと思えます。

・中学時期は知識を習得し心と身体を成長させる時であり、授業だけでなく部活動に参加することはとても大切なことだと思います。生徒の可能性を広げるためにも多くの選択肢を残すことが理想ですので「南河内第二中との合同チームは作れないか?」、「地域の方(退職された方)を顧問にできないか?」など学校単独でなく地域全体として検討する必要があると思います。

・一番には子どもたちが入部したいと思う部活動があることだと思います。これ以上減らしてほしくない思いはあります。団体競技の部は最低人数の部員が必要ですが、個人競技の部は顧問の先生がいれば継続可能だからです。

・どちらにしても難しいことと思いますが、今の時点でも他の中学に進む人がいるのに部活動数を減らしたら今まで以上に南河内中の生徒の減少が考えられると思います。

・提案①で、1つ以上の部とは、予想される部活動は何部かも含め、このようなアンケート内容を拝見できたらありがたかったと思いました。また、現状などを12月の新入生保護者会の前にも、各小学校の方を通し新入生と保護者の方に伝えた方が、説明を受ける側としては当日に伝えられるより多少安心するかと思います。

・一度なくなってしまうとには戻らないので、現状に近い状況をなるべく維持してみる。不都合が生じればまた考えるというのはどうなのでしょうか。

その他の意見

・①、②の他に③近隣の学校で合同で行い、部活数を減らさないようにする。や、④社教と連携し教員以外の指導員により指導を受ける。等考えてみました。①の部活動数を減らすことにより、やりたい部活がないと南河内中学区を卒業した児童が、他中学の進学を選択してしまい生徒数減が加速することが考えられます。そうならないために②とすると先生方の負担が大きくなります。…③④でも中体連参加の可否や費用の面など問題は山積みです。何かもっとよい方法はないでしょうか。②による先生方の負担増、子ども達への指導量(質)の減少を承知の上で①を避けるために②に賛成します。苦渋の決断です。

・とりあえず①にしますが、自分の子どもの部活が休部になると複雑な心境になります。②は各種大会に向けて頑張っているのに練習ができないと大会で成績を残すことができなくなり、他校との差ができてくやしい思いをしてしまうので、部活は行ってほしい。先生に負担があるのならば、1日は保護者立ち会いでの活動を取り入れてもいいのではないのでしょうか。

・近年子どもたちの数が減少している中、先生方の人数が制限されることは仕方のないことだと思います。そこで私は①、②のどちらでもなく、運動部と文化部に分け、幅広くいろいろな体験をさせ、次の進路に向け個人にあったものを見つけてあげることも必要なのかと思いますので、現在の部活を1つにし、先生方が余裕を持った教育ができることを望みます。

・我が家は、部活を引退した娘を最後に、中学校とは離れることになります。思うことはあっても、これから対象となる方々の意見を尊重し、耳を傾ける必要があるのではと、今回の回答を辞退したいと思います。

貴重なご意見をありがとうございました。どれもが正しい意見だと思います。しかしこれだけのご意見をいただく、部活動に対していろいろな考えがあり、全ての個人の考えを全員の意見としてまとめることはできないと思われまます。言い換えるとどんな方法でも、誰もが満足する解決策はないということです。今後はアンケートの意見を参考にし、教職員で結論を出していきますが、保護者の方には、保護者同士の反対の立場の方の考えなど、いろいろな意見を汲み取っていただけるとありがたいです。

また、教員にもいろいろな立場の方がいること、特に協力したいのだけれども、小さいお子さんを抱えて放課後や休日が自由にならない方がいることや、また、休日の部活動については、教員はボランティアに近い(休日は職務ではない)ことなども理解していただき、今後の方針をまとめたいと思います。ご協力ありがとうございました。